

一般財団法人

舞台芸術センター

歩んできた

50年

the 50th Anniversary

Since 1973

一般財団法人

舞台芸術センター

歩んできた

50年

目次

ご挨拶	5
祝辞	6
設立趣旨、沿革	12
歴代役員一覧	13
1. 小学生のためのミュージカル招待公演「こころの劇場」	16
2. 美しい日本語の話し方教室	24
3. 舞台芸術の国際交流	26
4. その他活動	27
主な事業実績	28

ご挨拶



一般財団法人舞台芸術センター代表理事 喜田哲弘

本年、舞台芸術センターの活動が50周年を迎えました。日頃より温かく活動を支えてくださる皆様に、心より感謝申し上げます。

舞台芸術センターの設立は1973年。劇団四季が発起者となり、公益性を具備した芸術文化活動をさらに積極的に展開していくため、多くの人々の賛同と協力を得て誕生しました。爾来、舞台芸術の普及向上に一意専心して50年。青少年の心と未来を豊かに育む活動を中心に、国際交流事業など、多様なプロジェクトを展開しております。

長い歳月を振り返ると、その原点には、劇団四季創立者・浅利慶太氏の強い思いがあります。「子どものためのミュージカルを全国的にさらに大規模に繰り広げる」「海外も視野に入れ文化交流を活発にする」等、壮大かつ具体的な目標を掲げ、三井不動産の江戸英雄氏が初代理事長に、浅利慶太氏が専務理事に就任し、時を刻み始めた本財団。なかでも最大の事業が、2008年スタートの「こころの劇場」です。舞台の感動を通して友情やおもいやりの心の大切さなどを子どもたちに届ける運動で、毎年、北は利尻島から南は石垣島まで約140地域で公演を実施、1年間では全国の小学6年生の約半数にあたる50万人を招待。のべ400社を超える企業、団体にご支援いただいております。

私も公演に赴くたび、子どもたちの真摯なまなざしや、あふれんばかりの笑顔を目の当たりにし、舞台芸術の持つパワーの大きさに、毎回深い感動を覚えます。未来を担う子どもたちを取り囲む環境は、決して明るいものばかりではありません。子どもに何を伝え、残すのか——その選択は、私たち大人にかかっており、重責を伴うものです。「社会総がかりで支えよう」というスローガンを掲げた「こころの劇場」の意義を再認識し、継続を心に誓う瞬間でもあります。

演劇活動から拡がる明るい未来を祈り、今後も故・浅利氏の想いを継ぎ、舞台芸術の普及向上に努めてまいります。本財団の活動は、皆様の多大なるご支援、ご協力がなければ成り立ちません。劇団四季の理念と共鳴しながらともに歩みを進める舞台芸術センターを、引き続き温かくお見守りいただけますよう、心よりお願い申し上げます。

祝 辞



四季株式会社（劇団四季）代表取締役社長
一般財団法人舞台芸術センター 評議員

吉田智誉樹

設立50周年おめでとうございます。舞台芸術センターは、劇団四季の活動とは切っても切り離せない大切なパートナーです。そのパートナーシップの始まりは、劇団創立20周年の1973年。劇団活動の一部について、その公共性を高めることを目的に設立され、劇団四季創立者・浅利慶太も専務理事に就任。以来、日本の芸術文化の発展を志し、綿密な連携を図りながら、多種多様なプロジェクトにも取り組んでまいりました。

劇団四季は創立以来、演劇が演劇らしくあることを求め、演劇が市民社会に寄り添って歩むことを理念として掲げております。「人生は素晴らしい、生きるに値する」という思いのこもった舞台を創造し、東京だけでなく全国各地の方々にもお楽しみいただきたいという信念のもと、劇団70周年を迎える本年まで、日本演劇界のフロントランナーとして歩み続けてまいりました。なかでも舞台芸術センターと取り組む社会貢献活動は、劇団にとって非常にかけがえない財産です。

その代表的な活動の一つが、「こころの劇場」です。全国各地の小学生を劇場に招待し、劇団四季のファミリーミュージカルを正式な校内行事として無料で鑑賞していただくこの活動は、舞台を通して、友情や連帯など人が生きる上で不可欠なメッセージを分かりやすく伝え、子どもの心を慈しみ育てる役割を長年果たしてきました。さらに、将来の舞台芸術の愛好者をも生み出し、日本文化の豊かな土壌を耕す一助になっていると自負しております。

この活動は、日本を代表するのべ400社以上の企業や団体のご支援を得て成り立っておりますが、その中心となつて尽力されているのが、舞台芸術センターなのです。

豊かで成熟した社会の実現のためには、子どもたちが幼い頃から文化や芸術に触れ、心を動かす機会を増やすことに、大きな意義があると考えています。これからも舞台芸術センターと劇団四季とでしっかりと手を携え、舞台芸術の振興に努力を続けてまいります。どうぞ変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。



日本生命保険相互会社 代表取締役社長 清水 博

一般財団法人舞台芸術センターの設立50周年にあたり心よりお祝い申し上げます。

貴センターとは想いを共に、長い年月を歩んできました。もう半世紀が経つと思うと感慨もひとしおです。

この間、日本は高度経済成長からバブル崩壊を乗り越え、近年はIT技術の革新により社会は変貌を遂げました。一方で、心の豊かさを育む機会の必要性は変わらず、ますます重要になってきていると感じています。

当社は、1964年、劇団四季の皆様とともに、舞台芸術を通じて子どもたちの心を豊かに育みたいとの想いから、観劇体験の場として「日生名作劇場（現ニッセイ名作シリーズ）」をスタートしました。そこで生まれた『はだかの王様』や『人間になりたがった猫』など数々の名作は、時代が変わった今でも、「こころの劇場」で上演され、全国の子どもたちに感動を届け続けています。

子どもたちの観劇後の感想文からも、大切なことを受け取ってくれていることが分かります。大人の想像を超える感性を持つている子どもたちが真の芸術に触れた時の感動は、成長の過程でも好影響をもたらすにちがいありません。そうした体験が心を磨き、周りの人や自然に対して広い視野を持つて接することができるようになるのでしょうか。それは知識や技術の習得だけでは得られない宝物になっているはずです。私自身、中学1年生の文化祭で演劇部の舞台をずっと口を開けて観ていたために友だちからかわれたくらいひき込まれたことが原体験となって、今も芝居をこよなく愛し、劇場にせつせと通っているのですから。

貴センターの半世紀にわたる取り組みは尊く、何にも代え難いものです。将来を担う子どもたちが豊かな心を育みながら大人になり、強くしなやかな心を持って社会に出ていくことを切に願いつつ、今後も貴センターの取り組みが更なる発展を遂げていくことを祈念申し上げます。

子どもたちの豊かな情操が育まれる社会の構築とともに邁進してまいります。

祝 辞



三井不動産株式会社代表取締役会長 菰田正信

このたびは、一般財団法人舞台芸術センター設立50周年を心よりお祝い申しあげます。

貴財団は国内の演劇、音楽などの舞台芸術の振興を図るための活動として、重要な役割を担われております。特に児童、青少年に対して、すぐれた舞台芸術の普及活動を活発に展開し、芸術文化の根本を理解する機会を提供されていらっしゃると思います。その中でも日本全国の子どもたちに演劇の感動を届けるプロジェクトである「こころの劇場」に当社は深く共感し、「こころ劇場」がスタートした2008年以降ご支援させていただいております。

当社は、「共生・共存」「多様な価値観の連繋」「持続可能な社会の実現」という理念のもと、地域コミュニティとの共生・連携を図り、街づくりに取り組んでいます。さらに、三井不動産グループ全体での取り組みにおいては共通の基軸となる「社会貢献活動方針」を策定し、「地球環境」「地域社会」「文化・教育」「国際交流」の4つの分野を中心に活動を進めてまいりました。ご支援させていただいている「こころの劇場」は日本全国の子どもたちの心へ、「生命の大切さ」「人を思いやる心」「信じあう喜び」など、生きていく上で大切なことを舞台を通じて語りかけていくプロジェクトであり、当社の理念に通ずるものがあると感じています。

エンターテインメントには私たちのこころを動かし、くらしに彩りを与える力があり、街づくりに欠かせない重要な要素です。未来を担う子どもたちに、心に響く舞台を届けていただき、これからもひとりでも多くの子どもたちと、感動の輪を分かち合いたいと思います。

長きにわたり舞台芸術の振興へ貢献されてきた貴財団の功績を讃えるとともに、未来に向けてますますのご発展をお祈りいたします。



北海道利尻町長 上遠野浩志

舞台芸術センター設立50周年、誠にありがとうございます。

舞台芸術の普及向上と、舞台芸術を通じて青少年の豊かな情操の涵養に資し、我が国の芸術文化の発展に多大な貢献をされて来られた貴財団が、ここに記念すべき50周年を迎えられることを心よりお喜び申し上げます。昭和48年に多くの方々の賛同を得て設立されて以来、堅実な歩みが続けられ、今日までたゆまぬ努力、そして劇団四季の素晴らしい舞台での活躍により発展を遂げ、全国の子どもたちに夢と希望を伝える演劇を数多く上演されてこられたことは大変喜ばしく、感謝と敬意を表す次第であります。

貴財団と利尻町の出会いは、平成16年に落成したばかりの利尻町交流促進施設（愛称「どんと」）の舞台で劇団四季初めての利尻公演『桃次郎の冒険』が上演されたことから始まります。日本を代表する劇団の演劇を、島の子どもたちに見せたいとの当時の町長の強い思いから、自らが先頭に立ち、様々な方々のご努力、ご協力を得て実現した舞台でした。日本最北の離島で本格的なミュージカルを観ることができると、当時は考えられないことでしたが、その後、平成19年から令和元年まで13年連続で招待公演を実施していただいております。その間、平成20年から始まった「こころの劇場」では、「北は北海道・利尻島から南は沖縄県・石垣島まで」が自分たちの合言葉だと言って、いつも四季のキャスト、スタッフの皆さんが当たり前のように利尻島を想い、感じていてくれて、毎年利尻島に来るのが楽しみだと言ってくださることが、我々にとってはたまらなく嬉しいことでありました。

毎年楽しみにしていた四季の公演が、コロナ禍によりここ3年は中止や配信になっていましたが、今年はいよいよ公演が再開され、通算15回目の利尻公演が実施となります。関係者皆様には大変なご苦労があったと拝察するところで、舞台芸術センターの活動を支え続けた、多くの協賛企業の皆様への感謝も忘れてはならないと思っております。

結びになりますが、舞台芸術センターが50年という節目を迎えられたことを心よりお祝い申し上げますとともに、「利尻島から石垣島まで」の合言葉がいつまでも続くものとなるよう、益々の発展を祈念しております。



浅利先生の「こころ」と共に

ソウル五輪シンクロロナイズドスイミングメダリスト
(現アーティスティックスイミング)

小谷実可子

このたびは舞台芸術センター50周年おめでとうございます。

私は、平成18年に政府が手がけた「教育再生会議」の委員として故浅利慶太先生と一緒させていただき、「こころの劇場」について知りました。

私自身、1992年に選手を引退して30年余り、地域の人や家族に向けた発表を目標とする、小学生から大学生向けのシンクロ教室を主宰し、生徒の個性を活かしたミュージカル仕立てのスイムショーを行なっています。年頃の女の子たちですから、華やかな役を取り合い、空気が悪くなったこともあります。そんな時は1人1人と向き合い、「なぜあなたがこの役として必要なのか」を丁寧に話し、気持ちを1つに成功に向けて頑張っています。

ある日、生徒の1人が「練習に来る途中、夕日がとてもきれいだっ」と話してくれました。「何年間も同じ道を、同じ時間に通ってきたはずなのに、この子は初めて夕日に目を留め、美しいと思えた。きっと彼女は今、心が充実しているから夕日を美しいと思うことができたんだな」と、シンクロ活動が彼女のそんな心を育むための一助になっていると思うと、何よりもうれしく感じました。

「こころの劇場」を通して、浅利先生が届けようとする活動に感銘を受け、規模は異なりますが私も同じ思いでシンクロ教室を続けています。様々な劇団四季の舞台にインスピレーションを受けたコスチュームでのシンクロスイムショーに取り組み、発表会のDVDを先生に見ていただいたこともありました。

今後も天の浅利先生に恥じないよう、1人でも多くの子どもたちの心が育まれ、観る方の心に届く作品がつけられるよう、精進してまいります。

そして、時に行き詰まった折には「こころの劇場」に思いを馳せ、私自身のこころも育てていきたいです。

舞台芸術センターの今後のご活動も応援しています。



一般財団法人舞台芸術センター 50周年に寄せて

劇団四季俳優 吉谷昭雄

劇場中に子どもたちの喧騒けんそうが響き渡り、やがて開演を告げるファンファーレが鳴ると大きな拍手と歓声が湧き上がる。さあ「こころの劇場」の開幕だ！舞台芸術センターと劇団四季の主催による「こころの劇場」は、2008

年に始まり今年で15年目を迎えました。全国の子どもたちに演劇の感動を届けたいと願うこのプロジェクトは、協賛企業、団体、各地教育委員会等、たくさんの方々にご協力いただき、演劇を通して子どもたちの心に「命の大切さ」「人を思いやる心」「信じあうよろこび」など生きていくうえで大切なことを語りかける公演です。北は北海道・利尻島から南は沖縄県・石垣島まで全国津々浦々、これまでのべ2300都市、5300回、740万人の子どもたちに観ていただきました。私も俳優として、全国の会館で行われる「こころの劇場」の舞台に長年立つてきました。

「命や愛することの大切さを知りました」
「優しくて勇気があって周りの人を思いやる事が出来るそんな人になりたい」

「劇団四季の皆さんが伝えてくれたおもいをずっと大切にしていきたい」
子どもたちの感想です。

演者と共にこころの旅をしてきた子どもたちの高揚した顔、輝く目、こぼれる笑顔。やがて舞台は終わり幕が下がります。

「こころの劇場」に携わってくださった全ての皆様、本当にありがとうございます。これからも夢と感動を届けるために「こころの劇場」は日本列島を駆け巡ります。

最後になりましたが、舞台芸術センター設立50周年、誠におめでとうございませう。財団の益々のご発展を祈念いたしております。



「言葉」という財産を大切に 「話す」経験を子どもたちに

劇団四季
レジデントディレクター 荒木美保

日本語の美しさを、「正しく話す」ことの大切さを日本中の子どもたちに伝えたい。その願いを込めて劇団四季の『美しい日本語の話し方教室』は始まりました。

立ち上げ当初は、劇団員が行っているレッスンを如何に子どもたちに分かりやすく、かつ楽しませつつ伝えるか、教材の表記や指し示し方はどうか等々、試行錯誤しながら進めました。お芝居仕立てでの進行という形に決まるまでの道のり、決まっただけからは台本の書き直しに続く書き直し、と様々な紆余曲折をメンバーが一丸となつて取り組みました。

授業は初め、子どもたちの少しの緊張と恥ずかしさから始まります。けれども、口を大きく動かして母音をはっきりと発声することを意識したり、日本語で聞き取りにくくなる注意箇所を気をつけたりしながら声を出していくうちに、声だけでなく表情までも変わっていく姿が印象的でした。最後に「相手に伝えるために心をこめて、目を見て、はっきりと話す」ことに挑戦する頃には、最初の恥ずかしそうな様子はどこかへ行ってしまうようです。その変化に、話し方ひとつでその人の表情も、発する言葉の生き生きとしたきらめきや躍動感も変わるのだということを変えて子どもたちから教わりました。

はつきりと自分の意見を相手に伝えること。相手の言葉に耳を傾けること。この一見当たり前のことが、どれだけ大切か。そして「正しく話す」ことがそのすべてにつながる土台であること。舞台に関わる者として、一人の人間として、私は今、日々稽古に立ち会いながら感じております。

「言葉」という私たちの大切な財産に今一度向き合つて「話す」ことを意識する、そんな機会を子どもたちに作るためにこれからも続けていきたい活動です。

設立趣旨

設立趣旨(抄) (1973年制定)

一国の文化の精華は、その国の国立劇場にもっともよく象徴されていると言われます。劇場＝舞台芸術は固有の文明と伝統とに培われた、民族の知性と感性、生命力と精神の集大成と申すことができましょう。先進諸国が、いわば自国の文化の結晶として、その振興、育成につとめているのも決してゆえなしとしません。

顧みてわが国の舞台芸術は、すぐれた伝統芸術と明治以来の西欧からの近代芸術の急速な摂取をあわせもちつつ、遜色のない実績を有するまでに到達しているにもかかわらず、その基盤と環境において、十分な条件を俱有しているとは申せません。とりわけ戦後、文化、教育、伝統等に関する理念の混乱と異常な経済成長による偏頗な精神生活との谷間にある昨今の情勢は、われわれに人間生活と文化の係わりについて改めて問いを発していると思われれます。

本財団はわが国の演劇、音楽などの舞台芸術の振興を図るための活動を行うとともに、とくに児童、青少年に対しては、すぐれた生の舞台芸術の普及活動を活発に展開して、その情操の涵養と舞台芸術を通じて芸術文化と人間の生き方の根本を理解することに役立ち、ひろく国際間の文化の振興と進展にとつて、よりよい環境の醸成に資することを目的として設立を企図しております。

沿革

すぐれた舞台芸術を育むには、社会各層の人々の広範な支持を集め、文化的な土壌を形成していかなければなりません。こうした現実認識をふまえて、1953(昭和28)年に創立した劇団四季は爾来、各界の人々と幅広い交流を持ち、正統的な芸術文化への理解を求めてきました。この活動と成果を基に、公益性を具備した芸術文化活動をさらに積極的に展開することを目的に1973(昭和48)年、多くの人々の賛同と協力を得て設立されたのが、財団法人舞台芸術センターです。2013(平成25)年、公益法人制度改革にともない、「一般財団法人舞台芸術センター」に名称変更いたしました。当財団の寄附行為には「舞台芸術の振興を通じて青少年の豊かな情操の涵養に資し、もつてわが国の芸術文化の向上に寄与する」と明記されています。

当財団の活動は、舞台芸術の全国的な普及活動や、身体の不自由な子どもたちを対象としたチャリティー公演、小学生・中学生を対象とした学校招待公演をはじめ、芸術文化セミナーの実施、舞台芸術を支える演技者・技術者の養成、舞台芸術に関する国際交流の推進など、多岐にわたっています。創立以来、その活動は、舞台芸術の普及向上に着実な役割を果たしています。

設立

1973(昭和48)年11月1日

※2013(平成25)年10月10日一般財団法人に移行

代表者

代表理事 喜田哲弘

所在地 (事務局)

〒105-0022 東京都港区海岸一丁目10番45号
TEL 03-6809-1670

歴代役員一覧

代表理事

※「代表理事」は一般財団法人移行時より。それ以前は「理事長」。
※所属役職は在任時の最終のものを記載。

初代	三井不動産株式会社 相談役	江戸英雄	1973年～1997年
2代目	ウシオ電機株式会社 代表取締役会長	牛尾治朗	1998年～2013年
3代目	四季株式会社 代表取締役社長	浅利慶太	2013年～2015年
4代目	四季株式会社 特別顧問	佐々木典夫	2015年～2021年
5代目	大同生命保険株式会社 顧問	喜田哲弘	2021年～現在

理事

浅利慶太	吉田秀和	田中浩一
天城勲	春日英明	石田義雄
有田一壽	若佐清	坂井信也
牛尾治朗	石井威望	白石好孝
江戸英雄	小川是	侯木盾夫 (現任)
衣奈多喜男	佐野文一郎	佐々木典夫
大倉真隆	中曽根康弘	深澤祐二 (現任)
河北倫明	成田豊	藤原崇起 (現任)
白井浩司	英正道	越智幸紀 (現任)
菅原実	山本恵朗	雲龍大祐 (現任)
中川鏡之助	吉井澄雄	喜田哲弘 (現任)
町田裕	小澤泉	
盛田昭夫	篠沢恭助	

監事

井関一	尾澤修治	北村行夫 (現任)
小澤泉	下条親紀	石黒克巳 (現任)
		小西謙二郎 (現任)

評議員

安倍寧	坂本真一
飯島清	笹川陽平
日下武史	島田晴雄
倉橋健	下村満子 (現任)
栗田純彦	城山三郎
栗原一登	デビット・パワーズ
香山健一	濱本英輔
小島章伸	日枝久
佐藤誠三郎	松田昌士
清水大三郎	藤原作弥 (現任)
鈴木富夫	浅利玲子
内木文英	吉田茂
畑中良輔	吉田智誉樹 (現任)
松村禎三	山本恵朗 (現任)
藤本久徳	黒澤登志夫
飯田亮	佐藤明夫 (現任)
出井伸之	山内千鶴 (現任)
川島廣守	
近衛忠輝	
小林陽太郎	

※敬称略・就任順

「こころの劇場」 浅利慶太元代表理事の思いと過去のインタビューより

浅利慶太元代表理事が「こころの劇場」について語った言葉をご紹介します。

浅利元代表理事は劇団四季の創立者・演出家として舞台を通して生きていく上で大切なメッセージを全国の子どもたちに届け続け、その理念が実を結んだ「こころの劇場」の活動は、多くの企業・団体・行政の皆様のご支援をいただきながら広がり続けています。

― 始めたきっかけ

安倍晋三内閣の「教育再生会議」の委員を務めていた時、蔓延するいじめの解決が問題になりました。いじめは体罰やペナルティーを与えても決して解決しません。いじめている子供の心の闇に迫る必要があるのです。それには舞台の感動を通して語りかける方法が最も効果的です。そこでこの作品（注…いじめをテーマとした『ユタと不思議な仲間たち』）を全国各地で無料公演する決心をしたのです。

（日経B P「日経ビジネス」 2009年3月23日号）

― 実施してみても……

多くの企業のご協賛を頂いたことで、北海道の利尻島や礼文島、沖縄県の宮古島や石垣島などでも公演できるようになりました。ご覧になった学校から、観劇後にいじめが減ったという報告がたくさん届いています。（日経B P「日経ビジネス」 2009年3月23日号）

目的の一部は達成しました。しかし、もっと社会的な活動の輪を広げていきたいと考えています。「こころの劇場」に触れた子どもたちは、やがて大人になり、次のお客様となってくれるはずですよ。そして今度

は観客として未来の「こころの劇場」を静かにバックアップしてください。こうして連続と、常に子どもたちの未来が、社会によって支えられていくのです。（劇団四季会報誌「ラ・アルプ」 2013年7月号）

― 「こころの劇場」の未来

近い将来、千回程度を、子供たちの心に働きかける公演に充てたいと考えています。何年かかけて実現したい。友情、親子の愛、連帯、自己犠牲の精神、感謝の心など、劇団四季のオリジナルミュージカルには、今の時代の子供たちに訴えたいテーマが数多くあります。

（劇団四季会報誌「ラ・アルプ」 2008年5月号）

「こころの劇場」では、全ての作品で、モラルや愛情等、今の教育に欠けているものを、ストレートに訴えていきたいと考えています。

（劇団四季会報誌「ラ・アルプ」 2008年6月号）

これからも一般財団法人 舞台芸術センターはご支援くださる皆様とともに「社会総がかり」となつて全国の子どもたちのこころに必要なメッセージを届けてまいります。

「こころの劇場」をご支援くださる皆様へ



一般財団法人舞台芸術センター 前代表理事
元四季株式会社(劇団四季) 特別顧問

佐々木典夫

劇団四季が全国各地に舞台を届ける活動を本格的に始めたのは1970年でした。

浅利代表をはじめ俳優も一丸となって全国のお客様づくりに奔走したのですが、その数年後公益的な事業に積極的に取り組む目的で舞台芸術センターが設立されました。

子どものためのミュージカルは日本生命様のサポートをいただいた「ニッセイ名作劇場」が主要な都市で50年に亘って展開されたのですが、さらに小さな町の子どもたちにも観劇の機会を作ろうと企画されたのが「こころの劇場」です。2008年の初年度の観劇児童は6年生を主体に57都市の31万人(学校招待公演のみ)でしたが新型コロナウイルス流行前は166都市53万人まで拡大しました。開催自治体が文化施設を提供して教育委員会や校長会の方が授業の一環で子どもたちを劇場まで案内してくださいます。劇団四季が創った舞台を通して「生きていく上で大切なことは何か」を考えてもらっています。公演の間には俳優やスタッフによる話し方教室や舞台準備の見学なども行われて、そのエリア

は利尻島から石垣島まで広がりました。ここまで成長できたのはご協賛いただいた企業・団体のご支援のお陰でございます。

私は浅利代表の代理で多くのご協賛先を訪問したのですが、京セラの稲盛和夫創業者様が「日本の未来を担う子どもたちのために大切な事業ですね、皆で力を合わせてやらなければいけません」と多額の拠出を即断してくださったことは今も忘れられません。

また牛尾治朗元財団理事長が紹介くださった仲井眞弘多沖縄電力元社長様は「こういうことは私が真っ先に手をあげなければいけませんね」と県下の協賛先に道を開いてくださいました。全国各地の商工会議所様、地域経済を牽引されている金融界やメディアの代表の皆様も異口同音に「こころの劇場」にご理解をいただいて、これまでのべ400を超える企業・団体様のご協賛をいただいています。正しく「社会総がかり」のこの仕事を未来永劫繋いでいくために変わらぬご支援をお願い申し上げます。次第でございます。

1. 小学生のためのミュージカル招待公演

「こころの劇場」

小学生のための ミュージカル招待公演の歴史

「こころの劇場」誕生の歴史は、1964年、開場したばかりの日生劇場（東京・日比谷）でスタートした児童招待公演「日生名作劇場（のちにニッセイ名作劇場／ニッセイ文化振興財団主催）」にさかのぼります。当時、日生劇場の役員であった劇団四季の創立者で演出家の浅利慶太氏は、日本生命の社長・弘世現氏から「戦後の荒廃の只中にいる子どもたちの心に、夢を与えてほしい」と聞き、子どもたちを退屈させないために当時はまだ珍しい「ミュージカル」の手法を採る舞台の制作を提案。こうして企業主催による画期的な児童招待事業が始動し、約50年にわたって777万人の児童を招待しました。現在、この精神が「こころの劇場」へと引き継がれ、その規模を拡充させています。



『ジョン万次郎の夢』 撮影=阿部章仁



『人間になりたがった猫』 撮影=山之上雅信



『はだかの王様』 撮影=山之上雅信

児童招待公演 「こころの劇場」とは

児童招待公演「こころの劇場」は、一般財団法人舞台芸術センターと劇団四季が主催し、日本全国の子どもたちに演劇の感動を届ける大型招待事業です。「生命の大切さ」「人を思いやる心」「信じあう喜び」など、人が生きていく上で最も大切なものを、舞台を通じて語りかけたいという祈りのもと、多くの企業や団体と行政のご協力を得て2008年より実施。全国の小学生を学校単位で招待しています。日本の未来を担う子どもたちの問題は、「社会総がかり」で取り組む必要があると考え、子どもの頃に触れる世界は、生涯決して色褪せることのない財産になると思います。これからも日本全国の一人でも多くの子どもたちへ感動の輪を広げていきます。

2023年度はファミリーミュージカル3作品（『人間になりたがった猫』、『ジョン万次郎の夢』、『エルコスの祈り』）を上演。この事業は、毎年北は北海道・利尻島から、南は沖縄県・石垣島／宮古島まで、計約140都市で400回公演、総計50万人の子どもたちが観劇しています。



2017年『嵐の中の子どもたち』終演後の様子 撮影=阿部章仁



2018年『王様の耳はロバの耳』利尻公演より



2018年「こころの劇場」観劇の様子 撮影=阿部章仁

「こころの劇場」 動画配信版

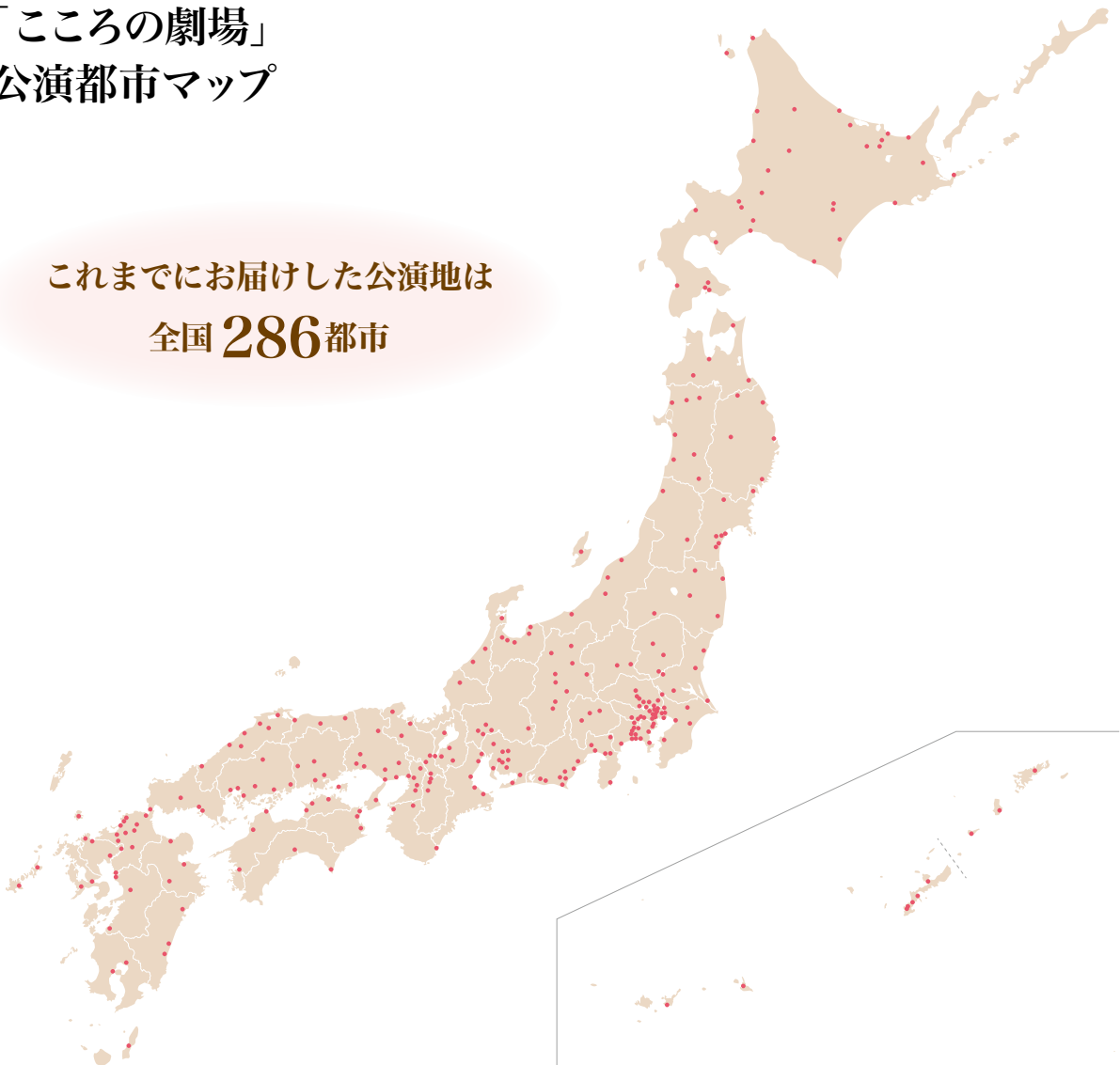
新型コロナウイルス感染症の影響により2020年度からは劇場開催が全面中止になりました。2021〜2022年度は、感染拡大防止のため、劇場に子どもたちを招待するのではなく、当年度に参加対象であった子どもたちが、各学校の教室にて視聴できる動画配信版に変更して開催しました。劇団四季ファミリーミュージカルの本編映像と作品の上映に至るまでの制作過程を紹介する特別映像を作り、全国各地の児童へ配信しました。動画を視聴した子どもたちからは「動画でも生の舞台のような迫力が伝わってきました!」「改めて命や仲間の大切さについて考えることができました」「舞台ができるまでにたくさんの方が関わっていたなんて知らなかったです。素敵な劇を届けてくれてありがとうございます!」とたくさんのご感想をいただきました。

2021年度は、『はじまりの樹の神話〜こそあどの森の物語〜』を152都市、46万人、2022年度は、『人間になりたがった猫』を160都市、48万人の子どもたちにお届けしました。



「こころの劇場」 公演都市マップ

これまでにお届けした公演地は
全国 **286** 都市



「こころの劇場」上演記録

実施年度 <small>※区分:当年4月～翌年3月まで</small>	都市数	公演回数	招待数	主な上演作品
2008年度	187都市	403回	40万人	『人間になりたがった猫』『ユタと不思議な仲間たち』『むかしむかしゾウがきた』
2009年度	207都市	483回	50万人	『エルコスの祈り』『人間になりたがった猫』『嵐の中の子どもたち』『はだかの王様』
2010年度	150都市	419回	55万人	『嵐の中の子どもたち』『エルコスの祈り』
2011年度	144都市	414回	56万人	『はだかの王様』『雪ん子』『魔法をすてたマジヨリン』『ユタと不思議な仲間たち』
2012年度	153都市	418回	56万人	『ガンバの大冒険』『王様の耳はロバの耳』『桃次郎の冒険』
2013年度	159都市	430回	56万人	『桃次郎の冒険』『はだかの王様』『人間になりたがった猫』
2014年度	159都市	462回	56万人	『ふたりのロETTE』『ジョン万次郎の夢』『魔法をすてたマジヨリン』
2015年度	166都市	481回	56万人	『むかしむかしゾウがきた』『王子とこじき』『人間になりたがった猫』
2016年度	177都市	480回	56万人	『エルコスの祈り』『ガンバの大冒険』『王子とこじき』
2017年度	169都市	436回	56万人	『ガンバの大冒険』『嵐の中の子どもたち』
2018年度	180都市	452回	56万人	『魔法をすてたマジヨリン』『王様の耳はロバの耳』
2019年度	166都市	402回	54万人	『カモメに飛ぶことを教えた猫』『はだかの王様』

合計 5,300回 / 646.5万人

※日産労連NPOセンター「ゆうらいふ21」クリスマスチャリティー公演を含みます。
※2020年度は新型コロナウイルス感染症の影響により上演中止、2021～2022年度は動画配信版となりました。

2023年度「こころの劇場」公演概要（予定）

- 『人間になりたがった猫』
- 『ジョン万次郎の夢』
- 『エルコスの祈り』

計 138都市・390回公演
(招待児童数 計50万人予定)

※2023年7月21日時点

「こころの劇場」読売新聞見開き広告 (2008~2019年度)

愛と希望を育む舞台
「こころの劇場」はこんなに大きく育ちました。

いまだ48年前、
「一粒の麦」はまかれた。
劇団四季ファミリーミュージカルの
始まりました。

2011年度は、茨城県石塚島から南は石塚島まで、日本全国56万人の子どもたちがこころの劇場に招待されました。

2012年度は、全国155都府県、430公演、56万人の子どもたちがこころの劇場に招待されました。

社会総がかりで支えよう。

TOYOTA
Panasonic
NEC
FANCL
三井物産
住友商事
住友銀行
三菱UFJ銀行
りそな銀行
ゆうちょ銀行
郵便局

2012年3月22日(木)

「こころの劇場」に40万人

2008年度は全国で40万人の児童・生徒のみなさんをこころの劇場に招待しました。

社会総がかりで支えよう。

TOYOTA
Panasonic
NEC
FANCL
三井物産
住友商事
住友銀行
三菱UFJ銀行
りそな銀行
ゆうちょ銀行
郵便局

2009年3月16日(月)

愛よ、届け。

こころの劇場 全国155都府県、430公演、56万人の子どもたちがこころの劇場に招待されました。

2013年度は、全国155都府県、430公演、56万人の子どもたちがこころの劇場に招待されました。

社会総がかりで支えよう。

TOYOTA
Panasonic
NEC
FANCL
三井物産
住友商事
住友銀行
三菱UFJ銀行
りそな銀行
ゆうちょ銀行
郵便局

2013年3月16日(土)

「こころの劇場」に50万人のありがとう。

2009年度は、全国155都府県、430公演、56万人の子どもたちがこころの劇場に招待されました。

社会総がかりで支えよう。

TOYOTA
Panasonic
NEC
FANCL
三井物産
住友商事
住友銀行
三菱UFJ銀行
りそな銀行
ゆうちょ銀行
郵便局

2010年3月15日(月)

全国56万人の子どもたちが観た、笑った、歌った、涙した。

2013年度は全国155都府県、430公演、56万人の子どもたちがこころの劇場に招待されました。

社会総がかりで支えよう。

TOYOTA
Panasonic
NEC
FANCL
三井物産
住友商事
住友銀行
三菱UFJ銀行
りそな銀行
ゆうちょ銀行
郵便局

2014年3月16日(日)

君たちは決して一人ではない。

2010年度は、全国155都府県、430公演、56万人の子どもたちがこころの劇場に招待されました。

社会総がかりで支えよう。

TOYOTA
Panasonic
NEC
FANCL
三井物産
住友商事
住友銀行
三菱UFJ銀行
りそな銀行
ゆうちょ銀行
郵便局

2011年3月25日(金)



2018年3月20日(火)



2015年3月19日(木)



2019年3月19日(火)



2016年3月18日(金)



2020年3月18日(水)



2017年3月17日(金)

これまで「こころの劇場」をご支援いただいた企業・団体一覧（2008～2023年度）

特別協賛

アース製薬
伊藤忠商事
S M B C日興証券
S Gホールディングス
N T Tデータ
キッコーマン
キヤノン
三機工業
清水建設
住友林業
積水ハウス
ダイキン工業
大同生命保険
大日本印刷
大和証券グループ本社
大和ハウス工業
ダスキン
電通
T O T O
トヨタ自動車
ニッセイ文化振興財団
日本生命保険
日本電気
ネットワンシステムズ
長谷工グループ
パナソニック
ホールディングス
東日本旅客鉄道
日立製作所
ファミリーマート
ファンケル
ベネッセコーポレーション
みずほ銀行
三井住友銀行
三井住友トラスト・グループ
三菱重工
三菱商事

劇場関連協賛

三菱UFJ銀行
三菱UFJ信託銀行
三菱UFJフィナンシャル・グループ
読売新聞社
ロッテ
オカムラ
金井大道具
三精テクノロジーズ
つむら工芸
東京ダンス・俳優&舞台芸術専門学校、大阪ダンス・俳優&舞台芸術専門学校
俳優座劇場
丸茂電機

関東ブロック

アイングループ
エヌ・ティ・ティ都市開発
オリエン트コーポレーション
川崎重工
共同印刷
ゼブラ
パイロットコーポレーション
三井住友海上火災保険
北陸銀行
北陸電力
東海ブロック
東海旅客鉄道
東陽倉庫
関西ブロック
アート引越センター
アドベンチャーワールド
小野薬品工業
関西電力
関西みらい銀行
京セラ
シスメックス
ダイハツ工業
ダイヘン
西日本旅客鉄道
阪神電気鉄道
みなと銀行
レンゴー

九州ブロック

九州電力
九州旅客鉄道
西日本鉄道
沖繩ブロック
沖繩海邦銀行
沖繩県労働金庫
沖繩セルラー電話
沖繩ツーリスト
沖繩電力
沖繩トヨタグループ
沖繩ファミリーマート
沖繩ヤマト運輸
サンエー
太陽石油
那覇空港ビルディング
日本航空
日本トランスオーシャン航空・琉球エアロコミュニティー
ベスト電器
琉球銀行

各地協賛

アイエイアイ
青森銀行
秋田共立
秋田銀行
秋田ランドリース
秋田国際カード
秋田魁新報社
秋田ジェイシーピーカード
秋田商工会議所
秋田テレビ
秋田保証サービス
アクセンチュア
アクティヴクルー
朝日印刷
旭化成ひむか文化財団

中国ブロック

中国新聞社
四国ブロック
あなぶきグループ
四国電力
朝日工業社
足利銀行
アステナホールディングス
麻生グループ
アマノ
アルインコ
イーグルランド
池田屋
石垣
イズミ
市進ホールディングス
一広
伊藤忠丸紅住商テクノスチール
伊那食品工業
因幡電機産業
イビデン
伊予銀行
伊予鉄グループ
いわぎんクレジットサービス
いわぎんデイトリーカード
いわぎんリース
岩谷産業
岩手銀行
岩手地所
宇和島徳洲会病院
H A A神戸
S W C C
エストラスト
N & N総研
N T T西日本
愛媛銀行
愛媛信用金庫
エフピコ
エムビル
大江電機
大垣共立銀行
大賀薬局
大阪信用金庫
大塚商会

東北ブロック

NTTドコモ東北支社
積水ハウス東北支店
東北電力
東北ブロック
中国新聞社
四国ブロック
あなぶきグループ
四国電力
朝日工業社
足利銀行
アステナホールディングス
麻生グループ
アマノ
アルインコ
イーグルランド
池田屋
石垣
イズミ
市進ホールディングス
一広
伊藤忠丸紅住商テクノスチール
伊那食品工業
因幡電機産業
イビデン
伊予銀行
伊予鉄グループ
いわぎんクレジットサービス
いわぎんデイトリーカード
いわぎんリース
岩谷産業
岩手銀行
岩手地所
宇和島徳洲会病院
H A A神戸
S W C C
エストラスト
N & N総研
N T T西日本
愛媛銀行
愛媛信用金庫
エフピコ
エムビル
大江電機
大垣共立銀行
大賀薬局
大阪信用金庫
大塚商会

- 釧路皮膚科クリニック
- 久原本家
- 熊本城東ライオンズクラブ
- くみあい船舶
- 栗本鐵工所
- グンゼ
- 敬愛まちづくり財団
- 京阪神ビルディング
- 京阪ホールディングス
- 恵和
- 建新
- 鴻池運輸
- 神戸どうぶつ王国
- コーチャンフォーグループ
- コープやまぐち
- コカ・コーラボトラーズ
- ジャパン
- 五勝手屋本舗
- コスモコーポレーション
- コニシ
- サーラグループ
- 埼玉縣信用金庫
- 埼玉りそな銀行
- サッポロホールディングス
- 佐渡汽船
- サマンサジャパン
- サンエス電気通信
- サン・クロレラ
- 三十三銀行
- サンセイテクノス
- 山日YBSグループ
- 三福ホールディングス
- サンフロンティア不動産
- サンメッセ
- 三洋化成工業
- 山陽電気鉄道
- GSユアサ
- 四国ガス
- 四国通建
- 四国浴材
- 静岡ガスグループ
- 静岡県労働金庫
- 静岡新聞社・静岡放送
- 信濃毎日新聞
- 島津製作所
- シマヤ
- 清水銀行
- 下関唐戸魚市場
- ジャパソフアルシム
- 十八親和銀行
- 城南信用金庫
- 正和商事
- 新米島どつく
- 新生商事
- 新日本科学
- SCREENホールディングス
- スズデン
- 住友ゴム工業
- 住友電気工業
- 住吉工業
- セイコーグループ
- 田口福寿会
- セールスフォース・ジャパン
- セキ
- セコム
- Z会
- 全教研
- 仙台銀行
- 崇城大学
- 創造学園
- ソニーグループ
- ダイクレ
- 大昭和紙工業
- 大地みらい信用金庫
- 太平洋工業
- 太平洋興発
- タカギ
- タカラスタントカード
- タカラバイオ
- 竹中工務店
- 伊達観光物産公社
- ちえん
- 千葉銀行
- 中国銀行
- 中国電力
- 中国放送
- 中電工
- 中日新聞社
- 中部電力
- 長府製作所
- DNS
- DMG森精機
- TOA
- TCC神鋼不動産
- 東海テレビ放送
- 東急グループ
- 東急不動産
- 東京エレクトロロンデバイス
- 豆子郎
- 東ソー
- 道南うみ街信用金庫
- 東邦銀行
- 東北新社
- 東北ビルカンリ・システムズ
- 東洋鋼鋳
- 東レ
- TOWA
- ドーワテクノス
- 十勝バス
- トクヤマ海陸運送
- 徳機
- 凸版印刷三幸会
- トヨタウッドユーホーム
- トヨタカローラ山口
- トヨタ不動産
- トンボ
- 長崎銀行
- ナカシマホールディングス
- 長瀬産業
- 中田建機
- 名古屋鉄道
- 南海電気鉄道
- にしき堂
- 西日本シティ銀行
- 西日本シティT.T証券
- 西日本新聞社
- 日清製粉ウエルナ
- 日専連ホールディングス
- 日東薬品工業
- 日本工学院
- 日本耐酸壱工業
- 日本特殊陶業
- ネクステージ
- ネッツトヨタ南國
- 直方自動車学校
- 野口観光グループ
- ハートランドフェリー
- バイタルネット
- 博多グリーンホテル
- 萩原工業
- 白寿生科学研究所
- ハタナカ昭和
- ハッピーフーズ
- 浜松いわた信用金庫
- 早駒運輸
- 林兼産業
- バルカー
- PFFU
- BofA証券
- BEMAC
- ビオトピア財団
- 檜垣造船
- ヒガシ21グループ
- 肥後東ライオンズクラブ
- 日立製作所笠戸事業所
- ひろぎんホールディングス
- 広島ガス
- 広島信用金庫
- 広電グループ
- フォークスシステムズ
- 福岡地所
- 福岡文化財団
- FUJI
- フジ・リテイリング
- 古河電池
- ベストケアグループ
- ペルーナ
- ベルモニー
- 北辰観光
- 北海道海洋土木
- ポッカサッポロフード&ビバレツジ
- 北國銀行
- 堀口組
- 堀場製作所
- 堀松建設工業
- マエダ不動産
- 丸一鋼管
- 丸久
- マルコメ
- 丸中しれとこ食品
- 三浦工業
- 三重交通グループ
- ホールディングス
- 三笠産業
- 三菱電機
- 三ツ輪商會
- みなと観光バス
- みなと銀行文化振興財団
- 明星
- 武蔵野銀行
- 明治屋産業
- 明和産業
- メガネの田中ホールディングス
- 萌福祉サービス
- 森山鉄工グループ
- 安川電機
- 山口銀行
- 山口ケープルビジョン
- 山口合同ガス
- 山口トヨタ自動車
- 山口放送
- 山口メセナ倶楽部
- 山田石油
- ヤマハ発動機
- ユースキン製菓
- UDトラックス道東
- ユタカ技研
- 横浜銀行
- 吉本組
- りそな銀行
- りそなホールディングス
- リックス
- ルートインホテルズ
- 留萌信用金庫
- レイメイ藤井
- ワコールホールディングス
- ワタキユーホールディングス

※五十音順
 ※ご協賛時から会社名が変更になつて居る場合、現在の会社名を掲載しております。
 ※現存している企業・団体のみ掲載しております。
 ※他にも、多くの企業・団体・個人の方よりご支援を頂戴しております。

2. 美しい日本語の話し方教室

舞台芸術活動の成果を日常生活に活かすことを目的として、俳優が舞台上で実践している台詞術「母音法」のメソッドに基づき、日本語を正しく、美しく話す実習を行います。

小学校5〜6年生のクラスを訪問し、話し言葉としての日本語を明快に、美しく話すことを目的とした授業を対話形式で行い、授業の後半ではミュージカルのテーマ曲を使って、歌詞を正しく伝える実習を行うと同時に「思いやり」や「友情」の大切さについて考えます。



撮影=下坂敦俊



小学校を訪問しての授業風景

受講した児童の感想

※児童の皆さんからいただいたお手紙より

私は皆の前に立つと緊張してしまって声が小さくなってしまいます。だけど劇団四季の皆さんが来てとても声が大きくはっきりしゃべっていたので、私も頑張ろうと思いました。

挨拶や母音で話す練習をただけなのに、最後には皆の心が一つになった感じでした。

今回の授業をきっかけに美しい話し方を少しずつ「チャレンジ」しようと思います。

授業内容

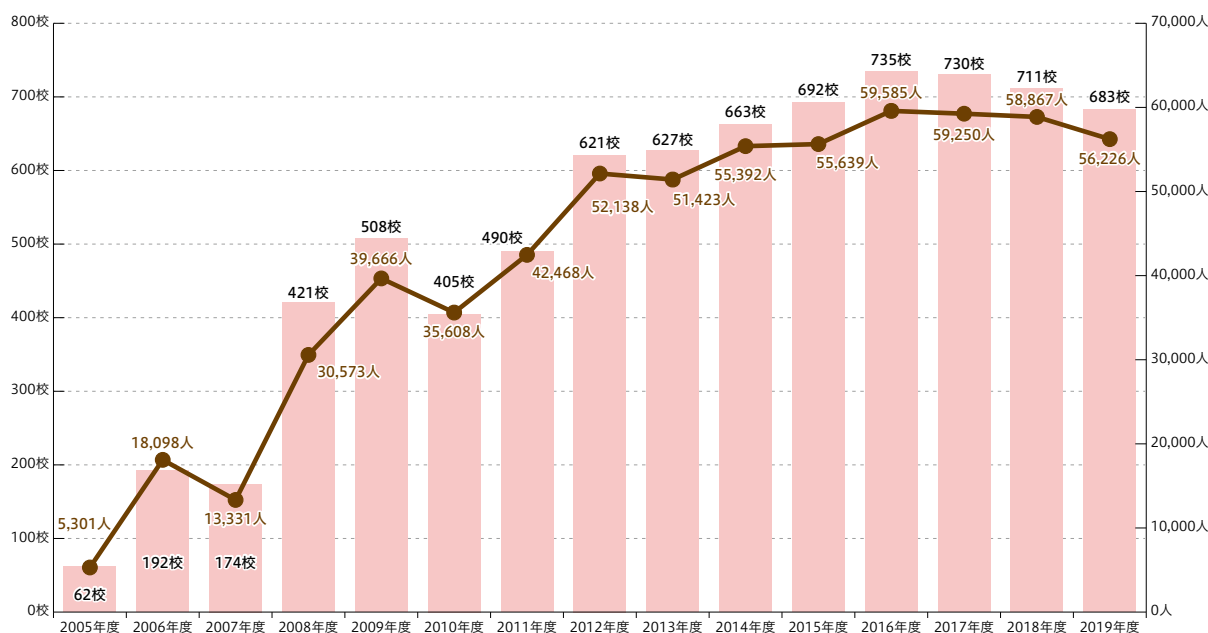
前半 「書き方」「読み方」とは異なる、「話し方」の練習

- 音の分離
- 母音と子音について
- 日本語における母音の重要性
- 連母音（同じ母音が続く）、長音、連子音について

後半 『友だちはいいもんだ』の歌唱を通じた実習

- 相手に思いを伝える
- 歌詞の内容（言葉の意味）を感じる
- はっきりとした言葉で歌う練習
- クラスの友だちに思いを伝えながら歌う

2019年度までの訪問実績



2005～2019年度 実施市区町村数

- 北海道、東北、北陸 ……23市8町1村
- 関東 ……23区65市10町2村
- 東海、関西 ……33市2町
- 中国、四国 ……5市
- 九州、沖縄 ……25市15町1村

東京都内と横浜市内を中心に、
全国の劇団四季専用劇場の近隣都市や、
全国公演で訪れた都市で実施。
15年間で37都道府県を訪問。

※ 2005年度から行っているこの授業を、新型コロナウイルス感染症対策として、2020年度から動画配信しております。配信版は、のべ887校、約7.5万人の児童の皆様にお届けいたしました。

浅利慶太 元代表理事の思い

日本の教育現場では、長く「読み書き算盤」が重視されてきました。

「読み書き」の後にいきなり「算盤」が来るのではなく、「読み書き話す」でなければならなかったはず。日本の教育には「話す方法」が抜け落ちており、日本人はそれを共有できていません。正しく読み、正しく書くことができて、「正しく話す」となるとたんにダメなのです。

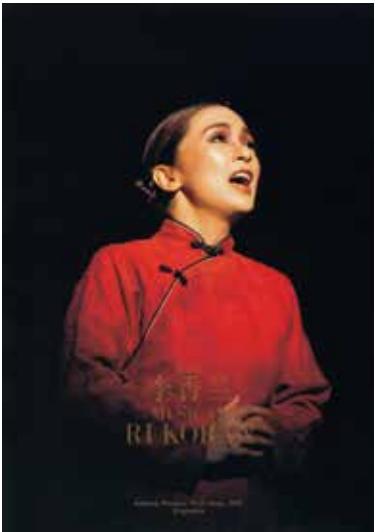
今から10年以上も前、たびたび四季の舞台を観てくれている、ある小学校の先生から連絡がありました。

「四季の俳優さんたちのように明晰な日本語が話せるよう、子どもたちを指導してくれないか」
学校における日本語教育に大いに不満を抱いていた私は、何としてもこのリクエストに応えなければならぬと考えました。そして、あれこれ試行錯誤の末、一冊の台本ができあがりました。それは、普段から劇団員が行っているレッスンに、わかりやすい説明を加えて四季の俳優が演じながら教えるというものでした。

できればこれを、日本全国の教育現場で正規の教材として使ってほしいと、私は本気で考えています。

浅利慶太 『劇団四季メソッド「美しい日本語の話し方」』
(文藝春秋2013年) ※許可を得て一部抜粋しています。

舞台芸術国際交流 (過去の実績から)



劇団四季オリジナルミュージカル

『ミュージカル李香蘭』

中国4都市公演

1992年4月10日～5月7日 (16回)

北京・国際劇院

長春・東方大劇院

瀋陽・中華劇場

大連・人民文化倶楽部

日中国交正常化20周年記念公演

シンガポール公演

1997年6月19日～21日 (3回)

シンガポール・カラン劇場

第3回アジア舞台芸術祭参加公演



ディズニーミュージカル

『美女と野獣』

北京公演

1999年10月22日～

2000年1月3日 (60回)

北京・北京劇院

中国人キャスト・スタッフによる公演

(制作・技術協力)

オペラ『蝶々夫人』北京公演

2002年10月1日～3日 (3回)

北京・天橋劇場

日中国交正常化30周年記念公演



『ハムレット』北京公演

2008年10月1日～15日 (13回)

北京・首都劇場

北京人民藝術劇院のキャストによる公演 (演出・制作・技術協力)

日本公演

2010年6月23日～27日 (5回)

東京・自由劇場

北京人民藝術劇院のキャストによる公演 (演出・制作・技術協力)



撮影=大窪道治

3. 舞台芸術の国際交流

中国・韓国等における舞台芸術の振興を目指して、日本での実地研修の実施、指導者の海外派遣、本国での公演活動の支援等を行っています。中国・韓国・シンガポールにおいて、日本の優れたミュージカル、オペラを公演し、高い評価を得ました。また、海外の文化・演劇の交流の促進を図ることを目的とし、中国・韓国等の優れた公演を招聘し、日本での公演を実施しました。

4. その他活動

アートセミナー

舞台芸術の普及向上を目的として、俳優、スタッフなど、舞台芸術の専門家、研究者等を講師に迎え、プロの俳優を志す人を対象にセリフ・ダンス・声楽等のレッスンを、また衣裳・メイクアップ関係の専門学校で学ぶ学生に対しては、衣裳セミナー・メイクアップセミナーを開催しました。限られた時間であっても、プロの俳優、スタッフから直接指導を受けられることは、その道を志す者にとって得難い体験だったと大変好評をいただいております。

実施したセミナーの例

- ・呼吸法、発声法、歌唱法
- ・コーラス
- ・ダンス
- ・衣裳
- ・メイクアップ
- ・舞台創作 など

青少年のための

ミュージカル公演

(日本自転車振興会補助事業)

青少年の情操育成および舞台芸術の普及を目的として、本格的な舞台芸術に日常的に接する機会の少ない全国の市町を巡回して優れたミュージカルを上演するもので、日本自転車振興会(現・公益財団法人JKA)から競輪公益資金による補助を得て、1975年に始まりました。第1回は『吉ちよむさんの龍退治』を19都市21回上演。舞台芸術センターと各地主催者とが共催し、2010年まで36回実施しました。

巡回した都市の例

- ・恵庭市(北海道)
- ・光市(山口県)
- ・若柳町(宮城県)
- ・詫間町(香川県)
- ・入善町(富山県)
- ・板野町(徳島県)
- ・浜田市(島根県)
- ・長島町(鹿児島県)
- など

日産労連

クリスマスチャリティー公演

日産労連NPOセンター「ゆうらいふ21」が主催となり、「全国各地のハンディキャップのある方々やそのサポートをされている方々に夢や希望、いつまでも思い出に残る本物の舞台を届けたい。そして舞台の感動を味わってもらいたい」という思いから始まった劇団四季のファミリーミュージカルにご招待する活動です。1976年から始まり、日産労連の組合員が毎月100円ずつ積み立てた「福祉基金」を元に毎年11月〜12月に行われています。ご来場者が安全に楽しんでもらえるように日産労連の皆様が運営のサポートをしています。初演は舞台芸術センターと自動車労連の主催で『青い鳥』を日生劇場で上演。2022年度は『人間になりたがった猫』を18都市、約6000人をご招待し、たくさん笑顔が見られました。

主な事業実績(年度別)

事業年度	事業内容	分類
第1期 1973(昭和48)年度	財団法人舞台芸術センター設立	
第2期 1974(昭和49)年度	シアタースペースシリーズ・間宮芳生の音楽(日生劇場)	[舞台芸術公演事業]
第3期 1975(昭和50)年度	青少年のためのミュージカル公演(全国巡回公演)	[日本自転車振興会補助事業]
	シアタースペースシリーズ・三善晃の音楽(日生劇場)	[舞台芸術公演事業]
	英国ロイヤル・シェイクスピア劇団招聘公演(日生劇場)	[舞台芸術国際交流]
第4期 1976(昭和51)年度	青少年のためのミュージカル公演(全国巡回公演)	[日本自転車振興会補助事業]
	チャリティー公演(全国各地)	[日産労連との共同事業]
	英国アーウィン・ニコラス・ダンス招聘公演(日生劇場)	[舞台芸術国際交流]
第5期 1977(昭和52)年度	青少年のためのミュージカル公演(全国巡回公演)	[日本自転車振興会補助事業]
	チャリティー公演(全国各地)	[日産労連との共同事業]
第6期 1978(昭和53)年度	青少年のためのミュージカル公演(全国巡回公演)	[日本自転車振興会補助事業]
	チャリティー公演(全国各地)	[日産労連との共同事業]
	劇場運営等に関する調査	[舞台芸術資料収集・提供]
第7期 1979(昭和54)年度	青少年のためのミュージカル公演(全国巡回公演)	[日本自転車振興会補助事業]
	チャリティー公演(全国各地)	[日産労連との共同事業]
	日米劇場会議	[舞台芸術国際交流]
第8期 1980(昭和55)年度	青少年のためのミュージカル公演(全国巡回公演)	[日本自転車振興会補助事業]
	チャリティー公演(全国各地)	[日産労連との共同事業]
第9期 1981(昭和56)年度	青少年のためのミュージカル公演(全国巡回公演)	[日本自転車振興会補助事業]
	チャリティー公演(全国各地)	[日産労連との共同事業]
	全国演劇研修会(全国各地)	[舞台芸術研修事業]
第10期 1982(昭和57)年度	青少年のためのミュージカル公演(全国巡回公演)	[日本自転車振興会補助事業]
	チャリティー公演(全国各地)	[日産労連との共同事業]
	全国演劇研修会(全国各地)	[舞台芸術研修事業]
第11期 1983(昭和58)年度	青少年のためのミュージカル公演(全国巡回公演)	[日本自転車振興会補助事業]
	全国演劇研修会(全国各地)	[舞台芸術研修事業]
第12期 1984(昭和59)年度	青少年のためのミュージカル公演(全国巡回公演)	[日本自転車振興会補助事業]
	全国演劇研修会(全国各地)	[舞台芸術研修事業]
	高校生のための演劇講座	[舞台芸術研修事業]
第13期 1985(昭和60)年度	青少年のためのミュージカル公演(全国巡回公演)	[日本自転車振興会補助事業]
	全国演劇研修会(全国各地)	[舞台芸術研修事業]
第14期 1986(昭和61)年度	青少年のためのミュージカル公演(全国巡回公演)	[日本自転車振興会補助事業]
	文化施設開館準備事業	[舞台芸術関係団体連携]
第15期 1987(昭和62)年度	青少年のためのミュージカル公演(全国巡回公演)	[日本自転車振興会補助事業]
	チャリティー公演(全国各地)	[日産労連との共同事業]
第16期 1988(昭和63)年度	青少年のためのミュージカル公演(全国巡回公演)	[日本自転車振興会補助事業]
	チャリティー公演(全国各地)	[日産労連との共同事業]
第17期 1989(昭和64/ 平成元)年度	青少年のためのミュージカル公演(全国巡回公演)	[日本自転車振興会補助事業]
	チャリティー公演(全国各地)	[日産労連との共同事業]
第18期 1990(平成2)年度	青少年のためのミュージカル公演(全国巡回公演)	[日本自転車振興会補助事業]
	チャリティー公演(全国各地)	[日産労連との共同事業]
	新進舞台芸術家の顕彰/作品展示(パルコ劇場)	[舞台芸術技術者養成]

事業年度	事業内容	分類
第19期 1991(平成3)年度	青少年のためのミュージカル公演(全国巡回公演) チャリティー公演(全国各地)	[日本自転車振興会補助事業] [日産労連との共同事業]
第20期 1992(平成4)年度	青少年のためのミュージカル公演(全国巡回公演) チャリティー公演(全国各地) 日中国交正常化20周年記念『ミュージカル李香蘭』 中国訪問公演(4都市) 日中国交正常化20周年記念日中協力創造会議(東京)	[日本自転車振興会補助事業] [日産労連との共同事業] [舞台芸術国際交流] [舞台芸術国際交流]
第21期 1993(平成5)年度	青少年のためのミュージカル公演(全国巡回公演) チャリティー公演(全国各地)	[日本自転車振興会補助事業] [日産労連との共同事業]
第22期 1994(平成6)年度	青少年のためのミュージカル公演(全国巡回公演) チャリティー公演(全国各地) ポピュラーミュージックコンサート (大阪フィルとの共演/大阪フェスティバルホール) 高校生のための舞台鑑賞促進事業(青山劇場)	[日本自転車振興会補助事業] [日産労連との共同事業] [舞台芸術公演事業] [舞台芸術研修事業]
第23期 1995(平成7)年度	青少年のためのミュージカル公演(全国巡回公演) チャリティー公演(全国各地) アートセミナー(キャスト・スタッフ) 日中ミュージカル交流事業 演劇資料館の運営(長野県大町市)	[日本自転車振興会補助事業] [日産労連との共同事業] [舞台芸術研修事業] [舞台芸術国際交流] [舞台芸術資料収集・提供]
第24期 1996(平成8)年度	青少年のためのミュージカル公演(全国巡回公演) チャリティー公演(全国各地) 劇場との共同作業による地域の文化活動 (ワークショップ・セミナー・アートセミナー) アートセミナー(キャスト・スタッフ) 春のフェスティバル(東京グローブ座共催) 日中ミュージカル交流事業(来日研修・試演会開催) 演劇資料館の運営(長野県大町市)	[日本自転車振興会補助事業] [日産労連との共同事業] [舞台芸術研修事業] [舞台芸術研修事業] [青少年舞台芸術フェスティバル] [舞台芸術国際交流] [舞台芸術資料収集・提供]
第25期 1997(平成9)年度	青少年のためのミュージカル公演(全国巡回公演) チャリティー公演(全国各地) アートセミナー(キャスト・スタッフ) 春のフェスティバル(東京グローブ座共催) アジア舞台芸術祭への招聘公演(シンガポール) 多国籍演劇公演(東京グローブ座) 長野オリンピック文化芸術祭参加公演 演劇資料館の運営(長野県大町市)	[日本自転車振興会補助事業] [日産労連との共同事業] [舞台芸術研修事業] [青少年舞台芸術フェスティバル] [舞台芸術国際交流] [舞台芸術国際交流] [舞台芸術国際交流] [舞台芸術資料収集・提供]
第26期 1998(平成10)年度	青少年のためのミュージカル公演(全国巡回公演) チャリティー公演(全国各地) アートセミナー(キャスト・スタッフ) 春のフェスティバル(東京グローブ座共催) 北京公演支援 演劇資料館の運営(長野県大町市)	[日本自転車振興会補助事業] [日産労連との共同事業] [舞台芸術研修事業] [青少年舞台芸術フェスティバル] [舞台芸術国際交流] [舞台芸術資料収集・提供]
第27期 1999(平成11)年度	青少年のためのミュージカル公演(全国巡回公演) チャリティー公演(全国各地) アートセミナー(キャスト・スタッフ) 春のフェスティバル(東京グローブ座共催)	[日本自転車振興会補助事業] [日産労連との共同事業] [舞台芸術研修事業] [青少年舞台芸術フェスティバル]

事業年度	事業内容	分類
第27期 1999(平成11)年度	中国語によるディズニーミュージカル『美女と野獣』北京公演支援 演劇資料館の運営(長野県大田市)	[舞台芸術国際交流] [舞台芸術資料収集・提供]
第28期 2000(平成12)年度	青少年のためのミュージカル公演(全国巡回公演) ミュージカル北海道助成公演 チャリティー公演(全国各地) アートセミナー(キャスト・スタッフ) 春のフェスティバル(東京グローブ座共催) 中国・中央戯劇学院学生、教官研修のため招聘 演劇資料館の運営(長野県大田市)	[日本自転車振興会補助事業] [舞台芸術公演事業] [日産労連との共同事業] [舞台芸術研修事業] [青少年舞台芸術フェスティバル] [舞台芸術国際交流] [舞台芸術資料収集・提供]
第29期 2001(平成13)年度	青少年のためのミュージカル公演(全国巡回公演) ミュージカル北海道助成公演 ミュージカルの新都市普及開発プロジェクト公演 チャリティー公演(全国各地) アートセミナー(キャスト・スタッフ) 演劇資料館の運営(長野県大田市)	[日本自転車振興会補助事業] [舞台芸術公演事業] [舞台芸術公演事業] [日産労連との共同事業] [舞台芸術研修事業] [舞台芸術資料収集・提供]
第30期 2002(平成14)年度	青少年のためのミュージカル公演(全国巡回公演) ミュージカル北海道助成公演 チャリティー公演(全国各地) アートセミナー(キャスト・スタッフ) 日中国交正常化30周年記念『蝶々夫人』北京公演 演劇資料館の運営(長野県大田市)	[日本自転車振興会補助事業] [舞台芸術公演事業] [日産労連との共同事業] [舞台芸術研修事業] [舞台芸術国際交流] [舞台芸術資料収集・提供]
第31期 2003(平成15)年度	青少年のためのミュージカル公演(全国巡回公演) ミュージカル北海道助成公演 チャリティー公演(全国各地) アートセミナー(キャスト・スタッフ) ソウル芸術大学来日研修 演劇資料館の運営(長野県大田市)	[日本自転車振興会補助事業] [舞台芸術公演事業] [日産労連との共同事業] [舞台芸術研修事業] [舞台芸術国際交流] [舞台芸術資料収集・提供]
第32期 2004(平成16)年度	青少年のためのミュージカル公演(全国巡回公演) ミュージカル北海道・沖縄助成公演 チャリティー公演(全国各地) アートセミナー(キャスト・スタッフ) 韓国訪日研修団招聘 演劇資料館の運営(長野県大田市)	[日本自転車振興会補助事業] [舞台芸術公演事業] [日産労連との共同事業] [舞台芸術研修事業] [舞台芸術国際交流] [舞台芸術資料収集・提供]
第33期 2005(平成17)年度	青少年のためのミュージカル公演(全国巡回公演) チャリティー公演(全国各地) アートセミナー(キャスト・スタッフ) 演劇資料館の運営(長野県大田市)	[日本自転車振興会補助事業] [日産労連との共同事業] [舞台芸術研修事業] [舞台芸術資料収集・提供]
第34期 2006(平成18)年度	青少年のためのミュージカル公演(全国巡回公演) ミュージカル北海道・沖縄・東北・新潟助成公演	[日本自転車振興会補助事業] [舞台芸術公演事業]
第34期 2006(平成18)年度	チャリティー公演(全国各地) アートセミナー(キャスト・スタッフ) 中国文化フェスティバル2006(話劇・バレエ・雑技) 演劇資料館の運営(長野県大田市) 全国高等学校演劇研究大会(フェスティバル07)	[日産労連との共同事業] [舞台芸術研修事業] [舞台芸術国際交流] [舞台芸術資料収集・提供] [青少年舞台芸術フェスティバル]

事業年度	事業内容	分類
第35期 2007(平成19)年度	青少年のためのミュージカル公演(全国巡回公演) ミュージカル北海道・沖縄・東北・新潟・四国助成公演 チャリティー公演(全国各地) 小中学生のためのミュージカル招待・助成公演 アートセミナー(キャスト・スタッフ) 中国人民解放軍交響楽団日本初公演 北京人民藝術劇院視察団日本研修 演劇資料館の運営(長野県大田市) 全国高等学校演劇研究大会(フェスティバル08)	[日本自転車振興会補助事業] [舞台芸術公演事業] [日産労連との共同事業] [青少年の情操教育事業] [舞台芸術研修事業] [舞台芸術国際交流] [舞台芸術国際交流] [舞台芸術資料収集・提供] [青少年舞台芸術フェスティバル]
第36期 2008(平成20)年度	青少年のためのミュージカル公演(全国巡回公演) ミュージカル北海道・沖縄・東北・新潟助成公演 チャリティー公演(全国各地) 小学生のためのミュージカル招待公演 中学生のための学校観劇普及公演 アートセミナー(キャスト・スタッフ) 北京人民藝術劇院『ハムレット』北京公演支援 演劇資料館の運営(長野県大田市) 全国高等学校演劇研究大会(フェスティバル09) 『美しい日本語の話し方教室』	[財団法人JKA補助事業] [舞台芸術公演事業] [日産労連との共同事業] [青少年の情操教育事業] [芸術鑑賞教室事業] [舞台芸術研修事業] [舞台芸術国際交流] [舞台芸術資料収集・提供] [青少年舞台芸術フェスティバル] [その他の事業]
第37期 2009(平成21)年度	青少年のためのミュージカル公演(全国巡回公演) ミュージカル北海道・沖縄・東北・新潟助成公演 チャリティー公演(全国各地) 小学生のためのミュージカル招待公演 中学生のための学校観劇普及公演 アートセミナー(キャスト・スタッフ) 韓国・ソウル芸術大学視察団招聘 演劇資料館の運営(長野県大田市) 「こころの劇場」観劇児童感想文集刊行 『美しい日本語の話し方教室』	[財団法人JKA補助事業] [舞台芸術公演事業] [日産労連との共同事業] [青少年の情操教育事業] [芸術鑑賞教室事業] [舞台芸術研修事業] [舞台芸術国際交流] [舞台芸術資料収集・提供] [舞台芸術関連出版物刊行事業] [その他の事業]
第38期 2010(平成22)年度	青少年のためのミュージカル公演(全国巡回公演) チャリティー公演(全国各地) 小学生のためのミュージカル招待公演 アートセミナー(キャスト・スタッフ) 韓国・ソウル芸術大学視察団招聘 北京人民藝術劇院『ハムレット』招聘公演 演劇資料館の運営(長野県大田市) 「こころの劇場」観劇児童感想文集刊行 『美しい日本語の話し方教室』	[財団法人JKA補助事業] [日産労連との共同事業] [青少年の情操教育事業] [舞台芸術研修事業] [舞台芸術国際交流] [舞台芸術国際交流] [舞台芸術資料収集・提供] [舞台芸術関連出版物刊行事業] [その他の事業]
第39期 2011(平成23)年度	チャリティー公演(全国各地) 小学生のためのミュージカル招待公演 アートセミナー(キャスト・スタッフ) 韓国舞台芸術家視察団招聘 演劇資料館の運営(長野県大田市) 「こころの劇場」観劇児童感想文集刊行	[日産労連との共同事業] [青少年の情操教育事業] [舞台芸術研修事業] [舞台芸術国際交流] [舞台芸術資料収集・提供] [舞台芸術関連出版物刊行事業]

事業年度	事業内容	分類
第39期 2011(平成23)年度	『美しい日本語の話し方教室』	[その他の事業]
第40期 2012(平成24)年度	チャリティー公演(全国各地)	[日産労連との共同事業]
	小学生のためのミュージカル招待公演 『美しい日本語の話し方教室』	[青少年の情操教育事業] [その他の事業]
第41期 2013(平成25)年度	公益法人制度改革により 「一般財団法人舞台芸術センター」に名称変更	
	チャリティー公演(全国各地)	[日産労連との共同事業]
	小学生のためのミュージカル招待公演 『美しい日本語の話し方教室』	[青少年の情操教育事業] [その他の事業]
第42期 2014(平成26)年度	チャリティー公演(全国各地)	[日産労連との共同事業]
	小学生のためのミュージカル招待公演	[青少年の情操教育事業]
	『美しい日本語の話し方教室』	[その他の事業]
第43期 2015(平成27)年度	チャリティー公演(全国各地)	[日産労連との共同事業]
	小学生のためのミュージカル招待公演	[青少年の情操教育事業]
	『美しい日本語の話し方教室』	[その他の事業]
第44期 2016(平成28)年度	チャリティー公演(全国各地)	[日産労連との共同事業]
	小学生のためのミュージカル招待公演	[青少年の情操教育事業]
	『美しい日本語の話し方教室』	[その他の事業]
第45期 2017(平成29)年度	チャリティー公演(全国各地)	[日産労連との共同事業]
	小学生のためのミュージカル招待公演	[青少年の情操教育事業]
	『美しい日本語の話し方教室』	[その他の事業]
第46期 2018(平成30)年度	チャリティー公演(全国各地)	[日産労連との共同事業]
	小学生のためのミュージカル招待公演	[青少年の情操教育事業]
	『美しい日本語の話し方教室』	[その他の事業]
第47期 2019(平成31/ 令和元)年度	チャリティー公演(全国各地)	[日産労連との共同事業]
	小学生のためのミュージカル招待公演	[青少年の情操教育事業]
	『美しい日本語の話し方教室』	[その他の事業]
第48期 2020(令和2)年度	チャリティー公演(全国各地) (新型コロナウイルス感染症の影響により中止)	[日産労連との共同事業]
	小学生のためのミュージカル招待公演 (新型コロナウイルス感染症の影響により中止)	[青少年の情操教育事業]
	『美しい日本語の話し方教室』(動画配信)	[その他の事業]
第49期 2021(令和3)年度	チャリティー公演(全国各地)	[日産労連との共同事業]
	小学生のためのミュージカル招待公演(動画配信)	[青少年の情操教育事業]
	『美しい日本語の話し方教室』(動画配信)	[その他の事業]
第50期 2022(令和4)年度	チャリティー公演(全国各地)	[日産労連との共同事業]
	小学生のためのミュージカル招待公演(動画配信)	[青少年の情操教育事業]
	『美しい日本語の話し方教室』(動画配信)	[その他の事業]

一般財団法人 舞台芸術センター
歩んできた50年

2023年9月7日発行

発行：一般財団法人 舞台芸術センター
東京都港区海岸一丁目10番45号
電話：03-6809-1670

印刷・デザイン：株式会社サンニチ印刷

掲載写真・記事の無断転載、複写を禁じます。

the 50th Anniversary

一般財団法人 舞台芸術センター

東京都港区海岸一丁目10番45号 〒105-0022

<https://www.butaijijutsu.or.jp>